

# 企業PR情報

## 事業所名 三和シャッター工業株式会社 広島工場

### ◇会社概要

所在地	〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手980		
支店・営業所等	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	➡ 三和シャッター工業株式会社の事業所になります。	
事業内容	シャッターやドアなど、建築用建材商品の製造・販売・施工や修理・点検を取扱う総合建材メーカーの三和シャッター工業株式会社の事業所の1つで、設計からの図面をもとに製品を製作している工場の1拠点になります。		
ホームページ	<a href="https://www.sanwa-ss.co.jp/">https://www.sanwa-ss.co.jp/</a>		
従業員数	78	名	(男性 61 名、女性 17 名)

### ◇直近3年の新卒者等の採用・離職状況

※提出予定の求人票(高卒)の「青少年雇用情報」に合わせてください。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
採用者数	33 人	29 人	38 人
うち離職者数	4 人	4 人	7 人

### ◇事業所の年代構成

①10代~20代 ( 23 ) ②30代 ( 16 ) ③40代 ( 16 ) ④50代以上 ( 23 )

【PRポイントチェック】 ※複数可

<input type="checkbox"/> 社員の定着率が高い	<input type="checkbox"/> 休暇が取りやすい	<input type="checkbox"/> 残業が少ない
<input checked="" type="checkbox"/> 社員教育が充実している	<input type="checkbox"/> 若手が意見を出しやすい	<input type="checkbox"/> 女性役員・管理職が活躍している
<input checked="" type="checkbox"/> 男性従業員の育休実績あり	<input type="checkbox"/> 快適な職場づくりへの取組をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 転勤がない

### ◇会社PR (先輩社員・事業主の声、職場の写真)

教えて！  
**三和の工場の仕事**

三和シャッター工業の工場では、実際にどんな仕事をしているのでしょうか。例えば、シャッターはそれぞれの部材を工場で生産し、建設現場にて施工業者が各部材を取り付けることで「シャッター」として完成します。今回は三和の代表商品であるシャッターとドアを製造する工場に訪れます。

**国内トップブランドの企業でのものづくりに携わりたいという思いで、2019年に入社しました。現在は、営業から回ってきた指示書を見ながら、パソコンで図面を描いています。**

一番力を入れているのは、最後に図面をチェックする段階。一つでも数字が間違っていると、後々の工程で製品がうまく組み上がらなかったり、お客様先で取められなかったりするのです。先輩にご指導いただきながら責任感を強く持って取り組んでいます。

離した業務なので最初は不安でしたが、細かい作業が好きですし、図面が完成したときは達成感があります。自分でも知っているような有名な現場の図面を描くこともあり、多くの人と協力しながら街づくりの一環を担っていることにやりがいを感じます。

2019年入社 工作図

工場長メッセージ

オーダーメイド品だからその、ものづくりの難しさと面白さ

足利工場は1970年の工場設立以来、シャッター業界で日本トップシェアを誇る三和シャッターの商品を作っています。注文を受けてからお客様に届くまで、幅広い技術・職種の仕事を手掛けている。また、工場には他の工場と異なり、全国に広がるシャッターを制作する工場があります。入社するお客様の職种には教育・育成を通じて必要な資格を取獲しながら、工場内で多様な業務を継続し、一人一人のスキル向上を目指すようにはしていますので、若手の方には将来への夢を抱いて、さまざまな現場での活躍を応援してはいいと思っています。

**ドアとシャッターの製造プロセス**

工場の仕事は大きく3つのプロセスに分かれます。

- ①製作指示： 製造内容を確認し、必要に応じて工作部を作業。工場内作業・製作指示を行います。
- ②製作工程： 工場の各部署で、材料の成形や加工、塗装、塗装などさまざまな加工を行い、必要部品を製作します。
- ③組立・出荷： 完成した部品を組み立てて最終検査を行います。

このページでは工場の作業工程の一部を紹介しています。

**ドアを製造する**

**溶接**  
ワイヤーで物を溶かす装置で溶接した部品を溶かします。特に溶接機は、3〜4トンの重さを支える材料の溶接も、溶接には熟練の技術が必要で。

**製造事務**  
設計図面を元に原料を準備して製作して製作を指示。材料の検査や品質の検査、検査などさまざまな業務を行っています。

工場長メッセージ

求められる商品が変化し続けることで活躍のフィールドが広がる

本田工場の製造ドアをメインに生産しています。ドアという製品は昔から変わらな思われるかもしれませんが、実際は社会のニーズがどんどん変化しており、機能面もデザインも日々進化しています。今後この変化に対応するためには、若い世代の進出や働き手が不可欠です。多様な人材が活躍できるフィールドがもたらすことで、弊社の発展も促すことができると考えています。

**切断**  
さまざまなサイズや仕様に合わせて材料を切断していきます。ここで図面が正確であることが後の工程にも影響するので慎重な作業が必要です。

**貼り合わせ**  
両面板、フレーム、芯材を貼り合わせます。各部材がここで初めて最終の形になります。